

留学を終えて

岐阜高等学校 早野 恵理子 (アメリカ合衆国)

私は文化や生活スタイルが違う全く別の世界に住んでみたいという思いがあったため、アメリカに留学しました。現地では環境や人に恵まれ、とても充実した一年を過ごすことができました。

私が住んでいた町はオハイオ州にあり、五大湖やデトロイトに近く、アメリカの中では比較的田舎と言えるところでした。家の近くには牧場やトウモロコシを栽培する畑がたくさん広がっていました。町には電車やバスなどの交通機関がなく、完全な車社会でした。私が通った学校は、プール、劇場、ラグビー場、近くにスケートリンクがあり施設が豊富でした。

私は中学、高校で吹奏楽部に所属していたため、アメリカの学校でもブラスバンドに入りました。日本の吹奏楽部はよく高校野球の試合で応援演奏をしますが、アメリカではラグビーの試合で応援演奏をします。さらにハーフタイムにマーチングの演奏がありました。私自身マーチングバンドの経験がありませんでしたが、周りの友達が丁寧に教えてくれたおかげで慣れることができました。日本にいたらマーチングバンドをすることは絶対に無かったので、いい経験になりました。マーチングバンドの時期の後には、座って演奏する、コンサートバンドの時期に入りました。私がいたバンドは部員数が多かったため、オーディション



で三つにグループに分けていました。オーディションのためにたくさん練習して、結果、一番上のグループのシンフォニックバンドに入ることができました。このシンフォニックバンドに入れたことで、ワシントンDCにあるジョン・F・ケネディセンター(左の写真)という大きなホールで演奏させてもらったり、ケント大学という大学の学生と一緒に演奏機会を与えてもらったりしました。ワシントンDCのホールは大きなシャンデリアがある広いホールで、こんなに綺麗なホールで演奏できることが本当に光栄でした。

更に私は学校外での吹奏楽団体にも所属し、自分の力試しをしてみたいと思いました。そこで私が参加したのがオハイオ州立大学の Honor Band というプログラムです。このプログラムに参加するためのオーディションに合格することができました。オハイオ州の演奏レベルを上げたい学生たちがオハイオ州立大学に集まり一緒に演奏するもので、一日目に楽譜が渡され、一日目と二日目で曲を仕上げ、三日目にある演奏会で演奏するという流れでした。二日目は朝から晩

まで練習しました。体力的に厳しかったですが、周りにいるほかの高校生たちがどんどん譜読みをして、みるみる曲を仕上げ上手くなっていくのを見て、自分も負けていられないと思いました。このプログラムを通して「もっと上手になりたい！」と思うようになりました。日本の吹奏楽部でしか演奏したことの無い私が、海外の演奏レベルが高い人たちと演奏できたことで私の中で大きなアドバンテージになったし、自分の可能性を広げられるきっかけとなったと思います。

また、私はホストファミリーとかけがえのない時間を過ごしました。私は留学に行く前、どんなホストファミリーか心配で、とても緊張していました。SNSや知り合いから留学体験を聞いて、益々不安になっていきました。しかし実際私のホストファミリーは私を本当の家族のように迎え入れてくれました。学校が終わったら今日何があったかホストファミリーに話したり、一緒にゲームをしたり、映画を見たりしました。ホストファミリーとの他愛のない会話が思い出に残っています。留学団体との間に少し問題が起きた時も、ホストファミリーは親身に私の話を聞いてくれて、いつも私の味方でいてくれました。今、日本で過ごしているコミュニティの他に、私を肯定し、いつも応援してくれる人たちがいるということは私の中で大きな支えです。そんな人たちに出会えたことに感謝しています。

私は留学する前、自分の何かを変えたいと思っていました。日本にいた時は目の前の部活や学校の勉強をこなせばばかりで、あっという間に時間が過ぎていきました。この余裕のない状態で、高校を卒業して大学に進んでしまうのか、それで本当に後悔のない進路選択ができるのか、と不安がありました。もっと時間をかけて自分の将来について考えるべきだと感じていました。アメリカの学校で過ごして、自分とは何か、と考えるようになりました。日本の高校だと校則があることで生徒を統一化していますが、その反面自分の個性を見つけづらくしているのではないかと思います。私がいたアメリカの高校は校則というものがほとんどなく、生徒が好きな服装、髪型、髪色で生活していました。生徒一人一人が自分なりのスタイルを持ち、一人一人が自信に満ち溢れているように感じました。そんな人たちの中で生活し「私は誰にも負けない〇〇な部分を持っている」など、自分にしかないところを見つけ出すことができました。自分の長所や興味のあることを見つけられたことで、自分の将来についてより深く考えることができ、将来進む道は一本道ではなく、多岐に広くわたっていることを実感しました。

最後に、私はこの留学で得た経験をできるだけ多くの人に共有したいと思っています。この一年で私は多くの可能性を見つけ出すことができました。自分の可能性を広げるために多くの人に留学を経験してほしいと思っています。この留学にあたり、支援して下さった方々に心より感謝申し上げます。